

ふくちやまし

議会だより

2021
11



福知山城

福知山市イメージキャラクター
ドッコちゃん

■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■令和3年11月発行 No.133



「笑顔」あふれる2021
バブルバズーカ・泡パーティー
※関連記事…P24「元氣やで福知山」で紹介しています。

市議会ホームページの
アクセスはこちらから



昭和47年度以降49年連続の黒字決算

市民病院も11年連続の黒字経営（令和2年度決算審査）……………4～7

ここが聞きたい！一般質問 各会派から15議員が登壇 …………… 11～19

◆市内事業者の経営や事業継続を支援、子育て世帯等への感染症予防支援など 「新型コロナウイルス感染症関連事業」などの 補正予算を可決

◆令和2年度福知山市一般会計、特別会計11会計、企業会計3会計の 15会計の歳入歳出決算を可決および認定

8月30日から10月29日までの61日間にわたって9月定例会を開催しました。この定例会では、一般会計補正予算など44議案が市長から提案されました。このうち、緊急事態措置協力金対象外事業者応援事業、子育て世帯等感染症拡大防止クーポン事業などの新型コロナウイルス感染症関連事業、また、「知の拠点」推進事業、（仮称）福知山鉄道館ポッポランド建設事業などの補正予算や、条例の一部改正、人事案件などの議案が、9月22日に全議案原案どおり可決しました。

さらに、令和2年度決算の認定などについては、決算審査委員会において、9月27日～29日に所属別質疑、10月7日に総括質疑、8日に自由討議などを行い、10月29日に全議案可決または認定しました。また、本定例会の一般質問は、9月8日、9日、10日の3日間で行われ、15人の議員が質問を行いました。

さらに、議員提案した「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」を可決し、国へ送付しました。なお、本議会には、延べ20人の傍聴がありました。

9月定例会で決まった主な案件

一般会計補正予算

(万円未満切捨)

◇福知山市緊急事態措置協力金対象外事業者応援事業	8200万円
◇図書館電子書籍貸出サービス事業	3063万円
◇福知山市月次支援事業	2億5963万円
◇子育て世帯等感染症拡大防止クーポン事業	6114万円
◇自宅療養者等配食サービス事業	823万円
◇「知の拠点」推進事業	2167万円
◇体育施設設備整備事業	2100万円
◇（仮称）福知山鉄道館ポッポランド建設事業	1000万円
◇子育て応援まちづくり事業	5308万円
◇民間保育所施設整備事業	1億5976万円
◇放課後児童クラブ整備事業	1954万円

ほか

条例の一部改正

◇福知山市ふるさと納税基金条例、福知山市過疎地域自立促進基金条例 など

令和2年度一般会計・特別会計・企業会計決算の可決および認定

その他

- ◇物品の取得（市庁舎前駐車場自動精算機、多機能型小型動力ポンプ付積載車など）
- ◇財産の無償貸付（旧細見小学校および旧川合小学校の建物・土地など）
- ◇公立大学法人福知山公立大学第2期中期目標、過疎地域持続的発展市町村計画の策定 ほか

人事議案

◇公平委員の選任（1名）、教育委員の任命（1名）、人権擁護委員の候補者の推薦（6名）

議員提案

◇コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

8億7796万円 の補正予算可決 (一般会計)

追加補正で
コロナ対策

- 売上げ減少の事業者を支援
- 子どもふくふくクーポン券配布
- 自宅療養者などへ配食を実施



(仮称) 福知山鉄道館ポッポランド建設に伴い
再整備予定の福知山城公園親水広場

子育て応援まちづくり事業
問 三段池公園総合体育館の食堂リニューアルの詳細は。
答 親子の交流の場として食育活動などを実施し、土日の活用も図るため、貸館として考えている。

(仮称) 福知山鉄道館ポッポランド建設事業(建設に伴い必要となる福知山城公園親水広場の再整備のための設計費)
問 今後の施設整備における財源の寄附金が1億5千万円となっている理由は。
答 2億円の寄附をいただいたが、一部は開館後の運営に充ててほしいという寄附者の意向によるものである。

教育集会所等移転統合事業 (旧三岳小学校)

問 改修スケジュールと集約化・複合化となる本施設の今後の対応は。
答 今回、雨漏り改修工事が追加となっているが、年度内完成に向け進めていく。今後の対応は、人権推進室が取りまとめをしていく。

保育士確保対策事業
問 保育補助者雇上強化事業を10園、保育体制強化事業を5園とした根拠と想定を上回る場合の対応は。
答 市内の園にアンケートを実施した上で、効果的な制度となるよう設定した。想定を上回る際には対応できるように検討していきたい。

民間保育所施設整備事業

問 民営化された下六人部保育園の老朽化に伴う園舎建替位置が、都市計画道路上になることに対する事業者の認識は。
答 事前に説明しており、ご理解いただいた上で、都市計画法第53条の許可申請をされている。



電子書籍貸出サービスが導入される図書館

図書館電子書籍貸出サービス事業

問 業者選定の方法は。
答 入札やプロポーザルなどさまざまな形態があるが、今後の検討となる。

問 事業の主な対象者をどのように考えているか。
答 従来の来館型から、非来館型でも利用が可能となることから、より幅広い層を対象としている。

放課後児童クラブ整備事業

問 備品購入費の詳細は。
答 多人数が接続できる環境や速度、各クラブの施設状況から機器の選定を行っている。

問 WiFi環境整備後に一般利用はできるのか。
答 教育系ネットワークであり、一般の方は利用できない。

福知山市月次支援事業

問 国の月次支援金の80%を設定した理由は。
答 福知山市緊急事態措置協力金対象外事業者応援事業と本事業の期間・支給総額のバランスを考慮して設定した。

子育て世帯等感染症拡大防止クーポン事業

問 業務の委託先と内容は。
答 委託先は検討・調整中で、内容は高齢者等感染症拡大防止クーポン事業を参考にしていきたい。

子育て世帯に限定した理由

答 全国的に子どもたちへの感染が拡大していることやワクチン接種の状況、2学期が始まり、子どもたちが集まる状況などを勘案した。

自宅療養者等配食サービス事業

問 事業の啓発方法と個人情報の取り扱い。
答 保健所から案内される文書と並行して市としても広報する。個人情報取り扱いについては、保健所・市・事業者の間で、最低限に制限し運用していく。

審査結果

全議案可決

令和2年度
決算審査報告

昭和47年度以降 49年連続の黒字決算

市民病院も11年連続の黒字経営

決算審査委員会
録画配信は
こちらから



■質問数 193項目

■質問時間 23時間1分

所属別審査

■公民連携事業

問 本事業の内容と力を入れた点は。

答 廃校をはじめとする大規模遊休施設のサウンディング調査や金融機関との連携、指定管理者制度の運用を通じて、公共空間と民間事業者による活用・マッチングを図り、公民連携の取り組みにより、施設の有効活用をするもの。注力した点としては、廃校マッチングバスツアーをメイン事業として取り組んだ。



京阪神の企業の参加が多い廃校マッチングバスツアー

■スマートシティ推進事業

問 消防団幹部へのタブレット端末配布の効果は。

答 講習会の開催が年度末の3月であり、本格運用は令和3年度になってからであるが、8月の長雨の際には、約400件の情報伝達がされ、十分な効果があつたと判断している。

■市税の状況

問 個人市民税の増収、法人市民税と固定資産税の減収のそれぞれの要因は。

答 個人市民税については、新型コロナウイルス感染症の影響が開始する前の平成31年1月から令和元年12月までの収入によって算出しており、給与所得の伸びにより所得割の納税義務者が298人増加し、増収となった。法人市民税については、製造業1社の前年の伸びが大きかったことによる反動で、約3億円の影響があり、減収となった。固定資産税については、法人1社の徴収猶予が影響し、減収となった。

■社会保障・税番号制度実施に係る整備等事業

問 個人番号カードの交付状況と今後の目標は。

答 令和2年度で、1万101枚の交付があり、前年と比較して13・1%の伸びと

なった。令和3年8月末での交付枚数は、2万7338枚で、交付率は35・48%となっている。目標については、令和3年度末で40%を超えたいと考えている。

■ふくふく医療費支給事業

問 決算額が前年度から半減した理由は。

答 1点目としては、受給者数の減少によるもので、令和元年度は8131人に対して、令和2年度は8046人であった。2点目は、新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えと、マスクや手洗いなどの定着により呼吸器系の疾患が減少したことと考える。3点目として、令和元年度途中に「京都市子育て支援医療費支給事業」の制度内容が、3千円を超える分から1500円を超える分に拡充された。令和2年度は当初より拡充された内容が適用されているため、ふくふく医療費における本市の負担が減少したものである。



■あんしんマスクお届け事業

問 新型コロナウイルス感染症対策として実施した本事業の評価と現在の状況は。

答 全国的にマスクが不足する中で、市内においても一時店舗に行けなかったこともあった。こうした状況において、できる限り早く安価に届けられるよう取り組んだが、一定の準備期間を要したことにより、マスク不足のピークと販売期間を合わせることが困難であったため、目標の販売率には及ばなかった。在庫のマスクは協定に基づき市で買い取り、高齢者・障害者施設や幼稚園、小中学校の教職員用として配布している。また、大規模災害時における備蓄用として活用している。

■教育情報化整備事業

問 1人1台のタブレット端末が配備されたことに対する成果と課題は。

答 計画的な配備や環境整備により、大きな混乱はなかった。配備後は、児童・生徒が



自ら積極的に活用している状況である。特に、音楽における歌唱テストにおいては、撮影をした動画での採点をするなど、コロナ禍での活用という点でも大きな効果があった。課題については、教職員間の習熟度や各学校間の差と考えるっており、教育委員会に配置しているICT支援員によるフォローを継続していきたい。



授業にタブレットを活用

■移住・定住促進事業

問 移住実績と移住促進特別区域に関する取り組み状況は。
答 移住実績は全体で21世帯、37人である。そのうち移住促進特別区域内では19世帯、34人となっている。個別に地域との連携・協議をすることで、令和2年度は、新たに2地域

の拡大が図れた。

■地域づくり組織支援事業

問 四つの協議会が設立されているが、成果と課題は。

答 成果としては、各協議会とも自らの運営で事業の企画立案をされているところである。課題については、交付金以外の資金調達が不十分であることである。

■農地中間管理事業

問 予算流用の状況と執行率の低さの要因は。

答 流用の287万3千円は、農林水産業新型コロナウィルス対策緊急支援事業、農林漁業者経営継続支援事業、地場産農産物推進事業などの財源に充当した。執行率が低い要因としては、令和元年度に制度の一部改正があり、補助単価が減少したこと、本事業は貸す方と借りる方の両方が整って補助となるものであるが、担い手不足などの影響もあり、マッチングの面でうまく整わなかったことなどが考えられる。

■道路・河川維持管理事業

問 地元からの要望に対する対応状況と来年度以降の予算確保の考え方は。
答 令和2年度は、道路関係

と河川関係を合わせて173自治会から726件の要望が提出されている。そのうち333件の対応をしている。令和2年度より「緊急安全対策事業」も行っており、本事業でも対応をしていく。

■観光パンフレット作成事業

問 本事業の執行率が低い要因は。

答 印刷製本費として、3種類のパンフレットと新規に1種類の作成をしたものである。在庫を抱えないようにするために、3回に分けて発注をしたが、新型コロナウィルスの影響もあり、結果的に予算時に想定をした必要部数を下回ったものである。



福知山市の魅力を発信する各種パンフレット

■国民健康保険事業

問 被保険者数減少の要因と

一人あたりの医療費が減少した要因は。

答 後期高齢者への移行による自然減や社会保険加入対象者拡大による脱退により減少したもの。医療費の減少は、新型コロナウィルスの影響による受診控えや、インフルエンザなどの患者が減少したものと考えている。

■介護保険事業

問 サービスBの状況は。

答 新型コロナウィルスの影響により、地域での活動が予定していたスケジュールでは進まず、補助した団体はなかった。

■水道事業

問 昨年8月に設立された滞納整理業務打合せ会議の構成と滞納状況は。

答 打合せ会議は、包括的民間委託先のお客さまセンターの職員と、上下水道部経営総務課の債権管理係の職員で構成されている。滞納状況は、令和2年度末で9412件、4176万円となっている。

問 給水停止の状況はどうであったか。

答 3カ月目の給水停止予告書を発行した件数が821件、給水停止を執行した件数

が271件となっている。このうち237件は停止解除となっている。

■病院事業

問 感染症指定医療機関としての新型コロナウィルス感染症への対応状況は。

答 令和2年3月より受け入れを開始し、令和2年度は43人、受入開始から令和3年9月までで117人となっている。また、発熱外来を設置し、814人の対応をしている。

総括質疑

■一般会計の歳入

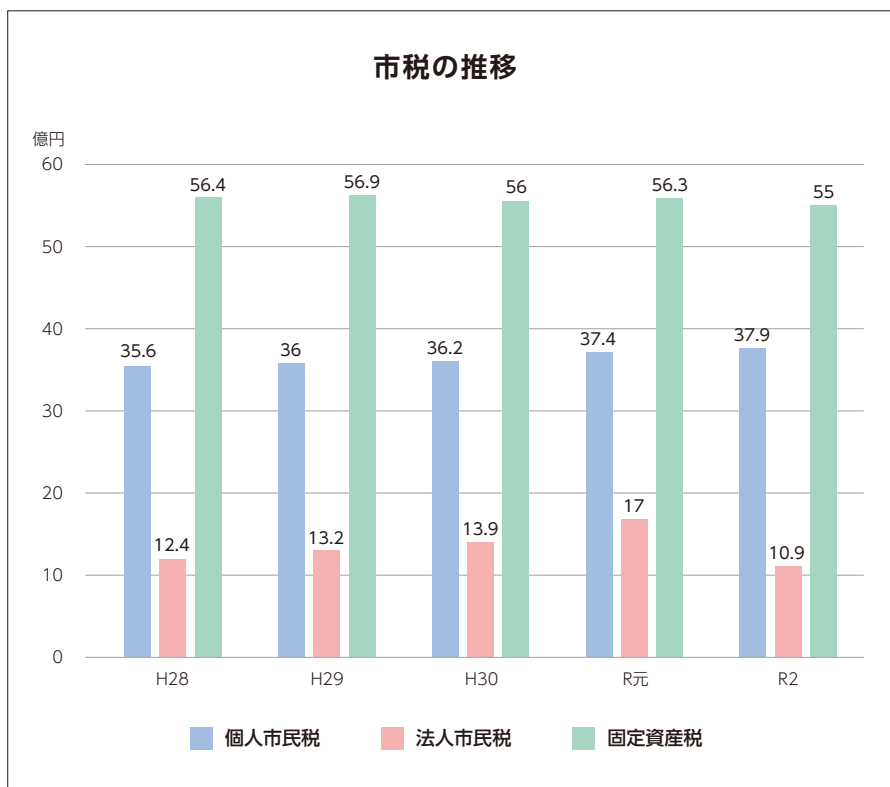
問 今後の市税の見通しは。
答 市税収入は前年度と比較し、約6億9636万円の減収となった。

令和3年度については、市税収入を8月末現在の現年調定ベースと比較すると、軽自動車税・たばこ税は前年度を上回り、個人市民税・法人市民税・固定資産税・入湯税は前年度を下回っている。

市税全体では、前年度より減収となる見込みである。

今後の推移は、法人市民税については、税率が変更されることや、新型コロナウィルス感染症の影響による事業実

市税の推移



續の低迷といった懸念材料があり、影響を受ける業種は限定的であるものの企業業績の急速な回復基調は望めず、今後も厳しい状況が続くものと考えている。

個人市民税については、本市における令和2年度の給与所得が総所得金額の約87%を占めており、企業業績の動向が個人所得に大きく影響を

る状況となっている。

法人市民税の予測から同様、今後も厳しい状況が続くものと考えている。

市税収入全体の将来見通しについては、社会情勢や経済情勢に大きく左右され、今後の税制改正によっても変動が生じることから確実に見通すことは困難であるが、新型コロナウイルス感染症の影響や

人口減少、少子高齢化の影響により、総じて減少することが想定される。

■一般会計の歳出

問 義務的経費である人件費の抑制の考えは。

答 第6次行政改革においては、平成28年度から令和2年度までの5年間で、定員の適正化として消防職・病院部局を除く一般職員を対象に、15人以上を削減するという目標を設定し、実績として31人の削減を行ってきた。

しかしながら、新たに発生する行政課題に対応することや災害発生時に市民の生活・財産を守るためには、これ以上の人員減は難しいのが現状である。

そうした中、今後は長時間労働に頼らない事業成果の徹底、時間に制約のある働き手の存在を前提とする働き方改革の推進、感染症対策下の新しい生活様式に対応しうる勤務体制の確保などに取り組み、人件費の抑制につなげていきたい。

■スマートシティ推進

問 ICT事業について、それぞれの部署が進めている事業の規模と今後の目標年次は。

答 事業の規模としては、防災分野で約4220万円、農林業分野で約2210万円、教育分野で約9億5780万円、行政分野で約590万円、内部の整備として約3400万円で合計約10億6200万円となっている。

目標年次については、令和3年度に策定を予定している(仮)スマートシティ福知山推進計画の完了期間である令和8年度を当面の目標とした。

■農業振興

問 現状の課題と今後の取り組み方針は。

答 担い手の確保と育成が喫緊の課題であると考えており、次年度以降も担い手組織や集落営農組織などへの支援を継続するとともに、国・府の支援が受けられるように「京力農場プラン」の実質化をサポートしていきたい。

■福知山公立大学

問 「知の拠点」としていくための財源確保の考えは。

答 大学運営を円滑に行うために、先ずは定員どおりに学生数を充足させ、運営費交付金を確保することが重要である。

る。

今後予定している大学院の整備や地域連携研究のさらなる充実にあたっては、引き続き地方創生関連交付金、国庫補助金、さらには産官学で連携した研究プロジェクト資金などの財源確保に努めていきたい。



大学院設置を目指す福知山公立大学

■空き家・空き店舗

問 対策を進めるにあたっての庁内連携の状況は。

答 各種相談は、市民サービスの向上の観点からワンストップサービスの運用として、空家サポートセンターで受付を行い、内容に応じて各担当部署につないでいる。

また、関係部署との情報交換、市の方針を協議する空家等対策庁内連携会議を立ち上げている。

農山村地域の空家対策と市全体の管理不全な空家の対策は、空家サポートセンターで対応している。

中心市街地における空き

家・空き店舗の賃貸や売買などの希望については、「福知山まちづくり株式会社」へつないでいる。

■^{※1}不用額

問 発生要因と今後の考えは。

答 令和2年度の不用額は約13億2976万円で、前年度と比較して約3041万円増加している。

その主なものは、教育費では教育情報化整備事業や大江地域学校統合整備事業などで約3・4億円、民生費では介護保険事業特別会計繰出金や生活保護扶助事業などで約3・3億円、衛生費では下水道事業会計負担金や上水道会計負担金などで約1・8億円となっている。

不用額が生じる背景や要因としては、入札によるものや執行において効率的に進めたこと、また特別会計や企業会計への繰出金や負担金が予算より抑制が図られたことである。

厳しい財政状況の中、毎年

度多額の不用額が発生している。

今後は、施策事業を効果的に進めるため費用対効果を検証し、予算編成や適正な予算執行に努めていきたい。

■^{※2}基金

問 令和2年度を通じて基金全体の運用状況と評価はどうであったか。

答 令和2年度当初残高は、約117億8千万円で、年度末残高は約115億7千万円となっている。

この1年で元金の積み立ては約18億7千万円、利子積み立てが約2千万円、取り崩しが約21億円で、これらの増減の結果、約2億1千万円の減少となった。

令和2年度は、合併算定替通減対策基金で活用を留保していた5億円を取り崩し、地方債の繰上償還を行い、将来の公債費負担の軽減を図った。

また、新型コロナウイルス感染症対策のために、財政調整基金を約2億円取り崩す一方で、減債基金への積み立てを行っている。

令和2年度は災害に見舞われることはなかったが、将来世代への負担軽減や感染症な

どへの対応により、財源対策基金は減少しているが、良好な状態であったと総括している。

■^{※3}企業会計

問 市民病院について、黒字経営が継続している中での今後の展望は。

答 今後も、疾病構造の変化や人口動態にも柔軟に対応しながらアフターコロナの時代においても、ロボット手術をはじめとする質の高い高度な医療を提供するため、人材や医療機器などの医療資源のさらなる充実を図っていきたい。

京都市以北の広域型基幹病院として患者さまの信頼に応え、安全・安心な医療サービスを提供し、安定した経営を継続していきたい。



黒字経営が続く福知山市民病院

予算連動型の 決算を目指して

自由討議

次の三つのテーマが提案され、活発な自由討議を行いました。

①「シビックプライドの醸成」「関係人口・交流人口の拡大」に向けた今後の考えについて

②再生可能エネルギーの普及にあたり福知山市が取り組むべき課題を考える

③福知山市の農業を守る支援施策の強化について

政策提言

自由討議のテーマから、次の二つを市長への「政策提言」とすることに決定しました。

○「シビックプライドの醸成」「関係人口・交流人口の拡大」に向けて

○福知山市の農業を守る支援施策の強化について

意見交換会

政策提言に基づき、市担当部署との意見交換会を行いました。

この「意見交換会」は翌年度以降の予算編成に反映することを目的に行うものです。

反対討論

議第41号の一般会計では、福祉関連事業や農業施策事業が減額されたことや、同和対策特別措置法が失効後も部落解放運動団体への補助金が継続している。また、住民の自治組織の長である自治会長に行政の仕事を委嘱していることや特別職非常勤職員に任用していることは問題がある。また、議第52号の後期高齢者医療事業では、受けられる医療が差別される仕組みである。よってこれらの2議案の認定については反対である。

賛成討論

なし

審査結果

全議案可決および認定

- ※ 1 不用額
予算額と実際に支出した額の差額のこと。
- ※ 2 基金
地方公共団体が、特定の目的のために資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられる資金または財産のこと。
- ※ 3 企業会計
地方公営企業法が適用される会計で、水道事業・下水道事業・病院事業会計のこと。

総務防災委員会

■福知山市ふるさと納税基金
条例の一部改正

問 条例改正の経緯や背景は、
税の軽減効果などを踏ま
え、2月・3月に企業版ふ
るさと納税の寄附の申し出が
あった場合、当該年度に実施
する事業に寄附金を充てる運
用が実質的に難しい状況が生
じている。については、企業に
とっても本市にとっても、有
利に活用できる基金の創設が
必要であり、今回条例改正を
提案したものである。

■福知山公立大学第2期中期
目標の策定

問 京都府や国からの支援を
積極的に要請していくことが
必要ではないか。

答 中期目標で示した「福知
山モデル」を大学とともに
実践し、地域を活性化させて
いきたい。教育のためには
「人・物・金」が必要であり、
支援の輪というものを一歩ず
つ大学と一緒に構築していき
たい。

■物品の取得(市庁舎前駐車
場自動精算機ほか)

問 機器の更新により、新し

い機能はあるのか。

答 ICOC A(イコカ)な
どキャッシュレス決済ができ
るようになることが大きな変
更点である。

(全議案 全員賛成で可決)



更新される市庁舎前駐車場
自動精算機ほか



産業建設委員会

■福知山市過疎地域持続的発
展市町村計画の策定

問 過疎地域の医療の確保に
ついて過疎債の活用は、民設
民営の地域医療でも適用され
るのか。

答 公的医療機関との連携に
より過疎地域の医療の確保を
充実させる事業であれば、過
疎債が適用される場合がある
が、具体化した時点での検討
になる。

(全員賛成で可決)

議会から国へ意見書

9月定例会において1件の意見書を可決し、国へ送付しました。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地
域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度
においても、引き続き、巨額の財源不足が避けら
れない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、
地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策
などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、
子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施
設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需
要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強
く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改
正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強
く要望する。

記

1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額に
ついては、「経済財政運営と改革の基本方針
2021」において、令和3年度地方財政計画の
水準を下回らないよう実質的に同水準を確保
するとされているが、急速な高齢化に伴い社
会保障関係経費が毎年度増大している現状を

踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せが
なされないよう、十分な総額を確保すること。

2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税
であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家
屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。
生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染
症緊急経済対策として講じた措置は、本来国
庫補助金などにより国の責任において対応す
べきものである。よって、現行の特例措置は
今回限りとし、期限の到来をもって確実に終
了すること。

3 令和3年度税制改正において土地に係る固定
資産税について講じた、課税標準額を令和2
年度と同額とする負担調整措置については、
令和3年度限りとすること。

4 令和3年度税制改正により講じられた自動車
税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の
延長について、更なる延長は断じて行わない
こと。

5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、
その一部を地方税又は地方譲与税として地方
に税源配分すること。

議案に対する討論

※討論の内容は、討論内容をもとに各議員が作成しています。

議第26号から議第61号まで 令和3年度一般会計補正予算(第5号)ほか (議第41号～議第55号までを除く)

反対 (議第26号)

「責任のとれない議案には反対」 荒川 浩司

この議案の中のポッポランド建設事業の説明を受けました。「お客様満足度・採算性・市民にとっての有益性」を考えた時に、私が一定満足する答弁は無かったのです。心配は、7億以上の建築費でお客様が少ないという現象です。足りないのは企画力です。一議員として責任のとれない議案に賛成する勇氣はありません。

賛成 (議第41号から議第55号を除く全議案)

「上程議案すべてに賛成」 馬谷 明美

コロナ禍のもと、変革と挑戦が必要な時代。多くの事業を掲げ、基礎自治体として、SDGsをはじめ、新しい時代に向け、持続可能で、発展性のあるまちづくりを目指すものであると思います。コロナ感染症への対応により、さまざまな制約を受けながらの市政運営。その実現に向けて知恵と力を出していきましょう。

議第41号から議第65号まで 令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定ほか

反対 (議第41号・52号)

「福祉事業、農業施策の減額は問題」 塩見卯太郎

一般会計は、新型コロナウイルス感染症への対策は評価するが、①福祉関連事業や農業施策事業が減額、②「同和対策特別措置法」が失効後も部落解放運動団体補助金の継続、③自治会長に行政の仕事の委嘱や特別職非常勤職員の任用には反対。後期高齢者医療事業特別会計は、受けられる医療が差別される仕組みのため反対。

賛成 (全議案)

「コロナ禍における令和2年度決算」 足立 治之

国の補助金制度を利用できない飲食関係以外の事業所・個人事業主への迅速な対応や、教育現場への早期のタブレット端末の配布は市民生活の安心につながり、経常収支比率も昨年度から1.3ポイント改善している。国民健康保険事業、病院事業、上下水道事業において黒字であり、財源は適正に支出されており認定すべきと考える。

9月定例会の議決結果について

■全員賛成で可決・認定・同意となった議案

議第27号	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第33号	福知山市ふるさと納税基金条例の一部改正
議第28号	令和3年度公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	議第34号	財政調整基金の繰入れ
議第29号	令和3年度福知山都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議第35号	物品の取得(市庁舎前駐車場自動精算機)
議第30号	令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	議第36号	物品の取得(多機能性型小型動力付積載車ほか)
議第31号	令和3年度病院事業会計補正予算(第1号)	議第37号	財産の無償貸付(旧細見小学校の建物・土地)
議第32号	福知山市個人情報保護条例及び福知山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	議第38号	財産の無償貸付(旧川合小学校の建物・土地)
		議第39号	損害賠償の額(車両の損傷)
		議第40号	公立大学法人福知山公立大学第2期中期目標の策定
		議第42号	令和2年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

議第43号	令和2年度国民健康保険診療所費特別会計歳入歳出決算の認定	議第56号	令和3年度一般会計補正予算（第6号）
議第44号	令和2年度と畜場費特別会計歳入歳出決算の認定	議第57号	過疎地域における福知山市税条例の特例に関する条例の一部改正
議第45号	令和2年度宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第58号	福知山市過疎地域自立促進基金条例の一部改正
議第46号	令和2年度休日急患診療所費特別会計歳入歳出決算の認定	議第59号	財政調整基金の繰入れ
議第47号	令和2年度公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第60号	物品の取得（高規格救急自動車）
議第48号	令和2年度農業集落排水施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第61号	福知山市過疎地域持続的発展市町村計画の策定
議第49号	令和2年度福知山都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第62号	公平委員の選任（ ふじた せいじ 藤田 清治氏）
議第50号	令和2年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	議第63号	教育委員の任命（ かとう ゆみ 加藤 由美氏）
議第51号	令和2年度下夜久野地区財産区管理会特別会計歳入歳出決算の認定	議第64号	人権擁護委員の候補者の推薦（ おかだ としひと 岡田 壽仁氏）
議第53号	令和2年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	議第65号	人権擁護委員の候補者の推薦（ うえむら やすおき 植村 泰興氏）
議第54号	令和2年度下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	議第66号	人権擁護委員の候補者の推薦（ かきさか ちよ 柿坂 千代氏）
議第55号	令和2年度病院事業会計決算の認定	議第67号	人権擁護委員の候補者の推薦（ かば よしみつ 蒲 善光氏）
		議第68号	人権擁護委員の候補者の推薦（ うえだ ひろやす 上田 博康氏）
		議第69号	人権擁護委員の候補者の推薦（ まとば わたる 的場 渡氏）
		市会発意第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書

※「議第27号から議第40号まで」、「議第56号から議第69号まで」の28議案については、田中法男議員は欠席

■議員別賛否一覧表（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議 案		議決結果	福知山市議会公明党			日本共産党市会議員団				蒼士会		大志の会		福知山未来の会			新政会					無党派			
			大谷 洋介	足立 伸一	吉見 茂久	吉見 純男	塩見卯太郎	紀氏百合子	中村 初代	金澤 栄子	野田 勝康	足立 治之	桐村 一彦	馬谷 明美	森下 賢司	田中 法男	小松 遼太	中嶋 守	芦田 眞弘	柴田 実	田淵 裕二	大槻 泰徳	藤本 喜章	尾嶋 厚美	荒川 浩司
議第26号	令和3年度一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議第41号	令和2年度一般会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第52号	令和2年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	可決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 欠：欠席 ※ 高橋正樹議員（蒼士会）は議長職のため表決に加わりません。
所属党派は、10月29日現在

ここが聞きたい！ 9月定例会

一般質問

各会派から15議員が質問に登壇！



質問議員

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 大志の会
桐村 一彦 議員 | 7. 日本共産党福知山市会議員団
塩見卯太郎 議員 | 13. 日本共産党福知山市会議員団
中村 初代 議員 |
| 2. 福知山未来の会
中嶋 守 議員 | 8. 新政会
藤本 喜章 議員 | 14. 福知山未来の会
森下 賢司 議員 |
| 3. 新政会
田淵 裕二 議員 | 9. 新政会
尾嶋 厚美 議員 | 15. 福知山市議会公明党
大谷 洋介 議員 |
| 4. 福知山市議会公明党
足立 伸一 議員 | 10. 日本共産党福知山市会議員団
金澤 栄子 議員 | |
| 5. 日本共産党福知山市会議員団
紀氏百合子 議員 | 11. 日本共産党福知山市会議員団
吉見 純男 議員 | |
| 6. 蒼土会
足立 治之 議員 | 12. 無会派
荒川 浩司 議員 | |

スマートフォンからもご覧になれます

録画配信中！

一般質問の
録画配信は
こちらから
(トップ画面)



※各議員の一般質問の録画配信はそれぞれのページのQRコードからご覧になれます。

※所属会派は10月29日現在

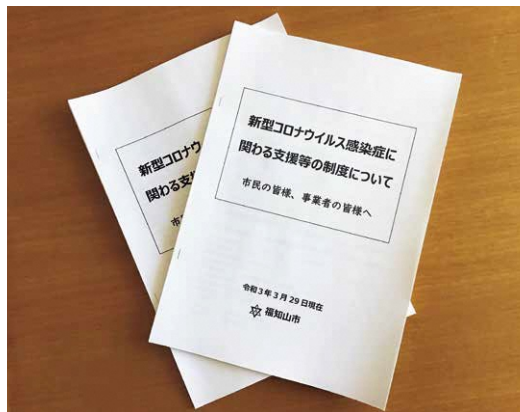
※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

※答弁者が同一の場合は、最後の答弁にのみ記載しています。

※撮影のためマスクを外し、本会議終了後に撮影しています。

Q コロナ禍の市内事業者への対応は

A 切れ目なく継続して支援展開する



福知山市の支援制度を掲載した冊子

注釈：新型コロナウイルス感染症に関する新たな支援制度などができた場合は、この冊子の内容が随時更新されます。

大志の会
桐村 一彦 議員



問 市内事業者への支援状況は。

答 中小企業者の経営環境の維持と経営の存続が、地域経済の好循環につながるものと認識し、支援するため、本市独自でさまざまな取り組みを展開している。

「福知山市時短要請協力金対象外事業者応援給付金事業」「福知山市緊急事態措置協力金対象外事業者応援事業」においては、府の飲食事業者などへの給付金の対象外事業者を支給対象者とすることで、制度の枠から外れる事業者を広く支援している。緊急事態措置協

力金対象外事業者応援事業は、さらに支援を広く行き渡らせるため、9月議会では増額補正を提案し、さらには、事業者への支援を切れ目なく継続して展開するため、新規事業として「福知山市月次支援事業」を追加提案した。

問 継続支援のための、市の財源確保は。

答 地方創生臨時交付金の追加配分を受けたところであり、引き続き、有利な財源の確保について、国・府へ要望していきたいと考えている。
(産業政策部長)

その他の質問

- ・人口減少問題への対応について
- ・第2期福知山市環境基本計画について
- ・SDGsへの対応について

Q 1人1台タブレット端末整備後は

A 効果的な活用の推進に努めている



タブレットを活用した授業

福知山未来の会
中嶋 守 議員



問 本年度4月に1人1台のタブレット端末が導入され5カ月余りが過ぎたが活用の状況は。

答 予想以上に授業をはじめとする教育活動へのタブレット型端末の活用が進んでいる。具体的には、※AIドリルを使って、自分に合った進度で漢字や計算などの問題に意欲的に取り組んでいる。また、オンライン全校朝礼、家庭学習などそれぞれの学校で工夫を凝らしタブレット活用が着実に進んでいるものと認識している。
(教育長)

問 見えてきた課題と対策は。

答 課題は使用頻度、活用のスキルという点で、学校間、教員間での差が生じていることや、今後より便利に、より自由にICT機器を使わせるために、さらに情報モラルの育成が必要となることなどである。また、対策としては、継続した各種ICT研修などによる指導力の向上や、これまで以上に「ルールを守る」との大切さや「便利さの陰にある危険性」などについて各学校で発達段階に応じて指導していくよう改めて指示していきたい。
(教育委員会理事)

その他の質問

- ・コロナ禍における本市の自殺対策について
- ・犬の登録及び狂犬病予防注射業務の対応窓口について

※AIドリル…答えの正誤に応じて出題傾向が変わる教材

Q 学校健診で服を脱ぐ必要はあるか

A プライバシーの保護を大切に実施



学校の健診で裸になる必要ってある？

※京都新聞 令和2年11月22日 記事より転載。

その他の質問

- 18歳新成人の取り組みについて
- ひきこもり支援の取り組みについて

新国会

田淵 裕二 議員



問 児童生徒の健康診断は健康な学校生活を送れるよう実施されており、優れた成果となつている。脱衣を伴う検査方法に、児童生徒や保護者から「とても恥ずかしい」「娘に恥ずかしい思いをさせたくない」など、疑問の声が上がっている。学校での健康診断の実施方法は。

答 事前に保護者と児童生徒には検査の重要性を伝え、疾病などの早期発見への理解をいただくよう取り組んでおり、プライバシー保護には厳重に対処し、個別の診察スペースや、「ついたてスクリーン」などで個別に

脱衣ができるよう環境づくりに努めている。

問 思春期の女子児童生徒は、脱衣を伴う身体検査の心理的な不安から検査当日の朝、保護者へ「学校に行きたくない」と訴える児童生徒がいる。この対応と今後の取り組みは。

答 本年3月文科省の通知で、児童生徒の骨格や健康状態の検査で脱衣を伴う検査は原則必要と捉えている。発達段階に応じた心理的負担への配慮は最大限行い、学校医と共にプライバシー保護などを大切に健診を実施していきたい。

(教育委員会理事)

Q スマート化で森林インフラ整備を

A 林業でICTの実践的活用は重要



とほ 林業インフラの一つである土場

福知山市議会公明党

足立 伸一 議員



問 ※航空3Dレーザー測量、ドローン、※地理情報システム(GIS)、林業関係者間の情報共有クラウドなど森林分野でのスマート化についての考えは。

答 資源情報の高度化、作業の省力化にICTの先端技術を活用する実践的取り組みは重要である。

(市長)

問 スマート化は林業の課題を解決し地域産業振興に貢献すると思うが。

答 航空レーザー測量による詳細な森林資源の把握、先端技術による高性能機械の導入、需要と供給の情報共有の仕組みづ

くりは林業のスマート化が必要とされており、国の「成長戦略フォローアップ」に基づき、府と連携し普及していきたい。

問 森林経営管理事業の計画は優先順位に従いレーザー測量を進めるとされている。全域で実施し、早期に情報インフラを整えていくべきではないか。

答 ICTで得る情報を本市施策に活用するため全域で航空レーザー測量を進めるが、経費や地元調整、将来の情報更新の再測量の必要性を見据え、時期や方法を検討したい。

(産業政策部長)

その他の質問

- 再生可能エネルギー普及推進の取り組みについて
- 流域治水について
- 有害鳥獣対策について

※航空3Dレーザー測量…航空機で、上空から地上の3次元の点群(大量の細かい点)を取得する技術
※地理情報システム(GIS)…コンピュータ内に地理情報を取り込み活用するシステム

Q 市役所の非正規職員の処遇改善を

A 働きやすい職場の実現に取り組む



1,000人を超える非正規職員が働く福知山市

日本共産党福知山市議員団

紀氏百合子 議員



問 令和2年度から会計年度任用職員制度になった非正規職員の諸手当、職務給的な手当、専門職にふさわしい報酬額などはどう改善されたか。ハローワークの求人票に諸手当などは明示されていないのでは。年次有給休暇、公民権の行使など国に準じた保障はされているか。年度替わりなどの任期と任期の間に不適切な空白を設けていないか。公務員共済制度や厚生年金保険制度への加入はどうか。

答 全員がパートタイムで、支給できる手当は限定されており、期末手当と特殊勤務手当、時間外勤務手当と通勤費を支給。報酬面では制度前より下がった職員はいない。ハローワークは所定の様式に記載している。休暇などは、国の会計年度任用職員に準拠し、年次有給休暇や公民権の行使を含め特別休暇を増やした。コロナ関連の特別休暇や職務免除制度は正規職員同様に有給としている。職員に不利になる空白期間は以前から設けていない。パートタイムは共済組合の加入対象外だが、来年10月から年金法の改正で共済組合の対象になる。（市長公室長）

その他の質問

- 自治会活動への支援について
- 空き家対策について
- 旧3町拠点施設の存続と、行政財産としての継続について
- JR上夜久野駅、下夜久野駅の利用者駐車場の提供について

Q 動物愛護と教育のまち福知山とは

A 動物愛護は京都府との連携で対応



保護されている猫達

※写真提供 キャッツワン【犬猫里親探し】保護猫譲渡会会場にて

蒼士会

足立 治之 議員



問 府の「動物愛護推進計画」に対する考えは。

答 京都府から委嘱を受けた動物愛護推進委員との連携により動物愛護の推進を図りたい。

問 市民からの野良猫の糞尿や餌やりについての苦情対応は。

答 中丹西保健所と連携し、現地に出向き事情などを聴き、指導や啓発チラシによる周知などを行っている。

問 本市の犬猫の保護団体の数とその活動内容の把握は。

答 正確な数は把握していないが、積極的に活動しておられる団体は複数

あると聞いている。

問 府などと連携し動物愛護条例の制定は。

答 引き続き「京都府動物の飼育管理と愛護に関する条例」に基づき、動物愛護・適正飼育について京都府（中丹西保健所）と連携し普及啓発、指導などに取り組んでいきたい。

問 教育的見地から見た動物愛護教育の内容は。

答 小中学校の道徳教育の中で生命を尊重する心、他者を思いやる心など個々を大切にした教育を実践している。（教育委員会理事）

その他の質問

- コロナウイルス感染症に対する市民への発信方法について
- 酒吞童子の里大江どぶろく特区の現状と将来展望について
- 「スイーツのまち福知山」事業の現状と将来展望について

Q 中丹勤労者福祉会館は存続を

A 京都府のあり方検討会議を注視



京都府中丹勤労者福祉会館

日本共産党福知山市議員団

塩見卯太郎 議員



問 京都府は府内5カ所の勤労者福祉会館の今後の方向性を議論する「あり方検討委員会」を8月23日設置した。今年3月の京都府外部監査から「長寿命化すべきか、近隣との統廃合か、施設存続の是非」の意見を踏まえ、これから協議を進めるとしている。中丹勤労者福祉会館は、令和2年度、多くの団体など4万人が利用している。また広域避難所である。6月議会で、本市から府に存続を求めるよう質問したが、働きかけられたか。

答 府の包括外部監査の情報提供を受けた段階で

あり、今後、府におけるあり方検討の経過や、議論の推移を注視すると6月議会で答弁した。府では、あり方の検討について8月に会合が開催された。現在府から本市に意見照会もない段階であり、引き続き注視する。

(市長)

問 府は、令和6年度までかけて検討するとして、引き続き長寿命化も含めて存続を強く働きかけるべきではないか。

答 包括外部監査は令和6年度までに、方向性を決定するとしており、あり方検討委員会を注視する。(産業政策部長)

その他の質問

- ・「(仮称) 福知山鉄道館ポッポランド」の施設の計画について
- ・パーム油バイオマス発電所を巡る福知山市の対応と条例制定について
- ・盛土による崩落、土石流災害防止、砂防ダムの点検を

Q 拠点施設としての地域公民館整備

A 桃映地域公民館整備を早い時期に



新たな地域拠点施設として、施設整備を待つ、桃映地域公民館

新国会

藤本 喜章 議員



問 桃映地域公民館は施設機能が十分でないが、整備に向けた市の対応は。

答 施設としては体育館しかなく、生涯学習を行う社会教育施設としての施設機能が十分でないことから将来は、新たな公民館施設を整備することになっている。

問 新たに建設する場合の施設機能は。

答 生涯学習を行う施設機能に加え、地域包括支援センターなどの機能を集約した複合施設とし、大正文化センターも施設内に移転統合を計画し、SDGsに貢献できる高機能な設備を設置している。

(市長)

その他の質問

- ・本市における子育て支援は
- ・これまでの消防団員確保に向けた対策と今後の取り組みについて

Q 低炭素・循環型・自然共生統合は

A 環境施策を行う上で統合的に行う

低炭素・循環型・自然共生社会の統合的な取組



※環境省「21世紀環境立国戦略」(平成19年6月)

低炭素・循環型・自然共生社会の統合的な取り組み

新政会

尾嶋 厚美 議員



問 低炭素・循環型社会に向けた取り組み状況は。

答 本市は、2月に「ゼロカーボンシティ」を宣言。6月には、「※再エネ100宣言 RE Action」に参加。2050年のカーボンニュートラルを目指し脱炭素の取り組みを推進。また、循環型社会の形成に向けた取り組みは、3月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき市民、事業者、市民団体および市が協働し、3R活動などの施策を推進し、循環型社会の実現を目指し取り組んでいる。(市長)

問 今後の方向性は。

答 脱炭素・循環型社会の取り組みと自然共生社会の形成は、環境施策を行う上で統合的に行う。

問 自然共生社会のさらなる共有・連携を進める政策は、計画にどのような盛り込まれるのか。

答 自然共生社会の取り組みは、SDGsに掲げる環境・経済の統合性にも合致しており、市民が将来にわたって、持続的に良好な環境と充実した暮らしを享受できる社会の構築を目指し福知山市環境基本計画を策定していく。(産業政策部長)

その他の質問

- ・中山間地域の農業の現状及び課題について
- ・地域における避難所機能の充実について
- ・移住定住される方の災害リスク情報の取り方について

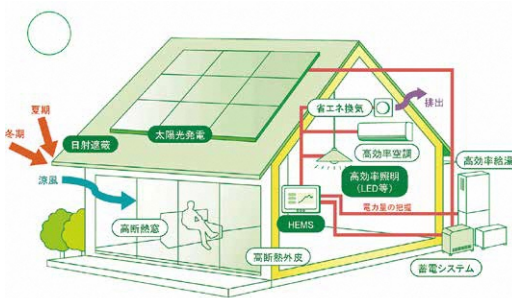
※再エネ100宣言 RE Action (アールイー・アクション) …企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組

Q CO₂削減2030年目標数値は

A 新たな環境基本計画で示したい

日本共産党福知山市議員団

金澤 栄子 議員



ZEH (ゼッチ)

(ネット・ゼロ・エネルギーハウス) の省エネ・再エネ

出典：経済産業省資源エネルギー庁ウェブサイト
(<https://www.enecho.meti.go.jp>)

問 本市の地球温暖化対策実行計画の進捗状況は。

答 計画を包含する新たな福知山市環境基本計画の策定にあたり、令和3年度に調査研究を行い、市民アンケートによる意識調査を行う。(市長)

問 2050年にCO₂排出量実質ゼロを目指す計画だが、国連の気候変動に関する機関は2030年までの削減数値を2010年度比45%削減しないと、気温上昇を1.5度までに抑え込むと報告している。市の計画の削減目標はどう考えるのか。

答 策定に当たり調査研

究に一定の時間を要する。国の改正地球温暖化対策推進法の詳細な内容が示された後に、本市の温室効果ガス削減目標などを示していきたい。

問 今年度の地域貢献型エネルギー推進事業では、省エネ・再エネ住宅および設備に補助金を交付している。ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)100戸に対する申請状況は。

答 8月末時点で10件の申請があった。引き続き幅広く広報し普及促進に努めていきたい。(産業政策部長)

その他の質問

- ・ジェンダー平等視点から、生理用品の設置や配布を
- ・医療・介護の支援制度基準の緩和を
- ・福知山市における8050問題の対策は

Q 福祉有償運送の補助金引き上げを

A 総合的に勘案し、研究していく



運転手などの不足により要望に応えられない送迎車

日本共産党福知山市議員団

吉見 純男 議員



問 事業実施法人においては、運転手の確保が困難となり新規会員の募集停止など、移送サービスの要望に応えられていない実態があるが、市の対応は。

答 ホームページや窓口にて配布している福祉有償運送に関するチラシに運転手登録のお願いを掲載し周知を行っている。今後においても、さまざまな機会をとらえて新たな担い手の確保について実施団体と協力しながら行っていきたいと考えている。

問 以上が経過するが現在に至っては、事業環境が異なってきた。安定運営を行うためには、補助金上限額の引き上げを行う必要があるのでは。

答 福知山市福祉有償運送実施団体活動事業補助金については、平成22年の制定以後、平成23年には補助対象経費の範囲拡大、平成28年には運行実績による加算を設け、補助総額上限を15万円から19万円に引き上げてきた。今後についても、実施団体の状況や社会情勢を総合的に勘案しながら研究していきたいと考えている。（建設交通部長）

その他の質問

- ・市役所、地域公民館にWi-Fi設備の設置を
- ・三和荘の運営方針について
- ・三和診療所の早期診療開始の方針は

Q 本市は計画段階から関与か

A 建築協議と指定可燃物届を受理

無会派

荒川 浩司 議員



問 土師パーム油発電所建設は、事業者と経済産業省との間で進められたものであり、本市の関与はないとの主張をされてきた。情報開示の資料には「街づくりは行政の取組であり、弊社は計画段階から種々相談を重ねている」との回答があるが、本市は計画段階から関与していたのか。

答 この文書は事業者が地域住民と意見交換を行った時の議事録を本市が受け取ったもの。本市の関与は、都市計画課で建築確認事前協議を受け、消防部署では、指定可燃物取扱い届書などを受理

問 土師パーム油発電所建設は、事業者と経済産業省との間で進められたものであり、本市の関与はないとの主張をされてきた。情報開示の資料には「街づくりは行政の取組であり、弊社は計画段階から種々相談を重ねている」との回答があるが、本市は計画段階から関与していたのか。

答 この開示資料に「議事録は本自治会長に提出するが赤字部分は内容を精査し再確認されたい」とある。また「議事録は外部公開前に市に提出を」とある。本事業者が実際に自治会提出前の資料を本市に事前提出し、市が修正したと思われる箇所は多数見受けられる。市はパーム油発電計画に初期段階から関与していたのか。

答 先ほどの回答と同様である。（市民総務部長）



その他の質問

- ・本市のコロナ対応について
- ・荒河地域の調節池の容量について
- ・本市の一般廃棄物処理に関する違法性について

Q 大江町の加久藤火山灰層の保存を

A 地質研究者の調査研究結果で対応



旧有仁小学校敷地内にある加久藤火山灰層

日本共産党福知山市会議員団

中村 初代 議員



問 旧有仁小学校敷地内の斜面に、約33万年前に九州の霧島火山の巨大噴火で飛んできた加久藤火山灰層という地質資料がある。この火山灰層の価値や今後についての考えは。

答 この火山灰層は露頭としては京都府内唯一のもので、貴重な資料と考えている。重要性については、現在地質研究者により、調査研究中でその結果を得て対応していきたい。

問 加久藤火山灰層は、昔、由良川がどのように流れていたのかを調べる貴重な資料であると共に、

答 保存については、今後の調査研究の結果をふまえて、関係者を含めて対応していきたい。重要性の普及については、地域公民館の歴史講座などで、地域を学ぶ資料として、今後も活用していきたい。（地域振興部長）

その他の質問

- ・コロナ爆発的感染から命と暮らしを守る対策を
- ・由良川流域の治水対策について
- ・ごみの減量化に向けて、資源ごみ集団回収団体報奨金の引き上げを

Q 野球場移転と陸上競技場整備は

A 優先順位も整理して検討していく



施設に課題が多く早期移転が望まれる市営球場

福知山未来の会

森下 賢司 議員



問 野球場移転の検討状況は。

答 これまでから、移転を検討するとの答弁をしてきた。スポーツ施設全般の総合的な検討の中で優先順位も整理しており、引き続き検討していく。

問 野球場は、立地環境面でも設備面でも近隣他市の球場と比べて大きな差がある。この課題をどう認識し、改善するつもりか。

答 選手専用入退場口やトイレもなく、更衣室の不備など施設の課題がある。駐車場も不足し、応援に伴う近隣への騒音も認識している。これらの

課題解決に向けてさらにさまざまな面から検討したい。

問 問題解決のためには三段池公園への移転拡充を急ぐ必要があるが。

答 三段池公園にこだわらず、スポーツ施設全般の今後のあり方や優先順位を含め、野球場の移転を引き続き検討したい。

問 陸上競技場の整備を府に強く要望する、とのことだが、現状はどうか。

答 府へ継続して設置要望しており、今後も強く要望する。一方、サッカーなど多目的に使用できる競技場の設置に向けて、市も検討中だ。（地域振興部長）

その他の質問

- ・市営住宅の需要と供給を考慮した適切な戸数の維持は
- ・有害鳥獣被害軽減対策のこれからは
- ・若い世代の新型コロナウイルス感染を防ぐために

Q 本市の将来のパワーの源は何か

A 大学は重要な成長エンジンである



開学した情報学部熱心な授業

福知山市議会公明党
大谷 洋介 議員



問 福知山公立大学は、本市にとって最大のパワー源であり、なくてはならない社会資本と考えるが、大学にどのようなことを期待するか。

答 令和2年度の情報学部の開設により文理2学部、1学年200名体制となったことで、平成28年度の開学当初と比較すると学生数は530名増加し、ひいては本市の若者人口の確保に大きく貢献している。北近畿地域全体の※デジタルトランスフォーメーションの推進や、デジタル技術を活

用した産業イノベーションの創出などを推進していかねばならない。
問 本市は大学を生かしてどのようなまちづくりを進めていくのか。

答 地方大学を核とした地域創生の先端事例となる「福知山モデル」の構築を目指していきたい。今後さまざまな地域課題の解決や若者の定着による地域活力の維持・向上さらには国際化・異文化理解などにつなげたい。
(市長公室長)

その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・奨学金の企業・行政による肩代わり返済について
- ・市民病院を発展させた要因について
- ・プッシュ型行政サービスについて
- ・確定申告に基づいた売り上げによる補助金確定について

※デジタルトランスフォーメーション…進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をよりよいものに変革すること



教育厚生委員会

北欧の社会福祉 子育て支援策と高齢者福祉を中心に研修会

活動日 7月30日(金)
場所 福知山公立大学

令和3年度教育厚生委員会の調査研究として「高齢化社会と子育て支援について」、福知山公立大学の川島典子教授（地域経営学部医療福祉経営学科）を講師に研修会を行い、福祉先進国フィンランドとノルウェーの子育て支援策や高齢者福祉の現状について理解を深めることができました。

フィンランドの育児休業は子どもが3歳になるまで自由に取得でき、これとは別に「両親休業制度」「父親休業制度」などがある。「母親手当」では妊娠4カ月までに衣類・おしめ・おもちゃなどの現物が現金が給付される。

また、ノルウェーの父親の育児休暇は最低12週間が義務づけられ、育児休暇中の給与保障は100%。児童手当は月約1万6千円を18歳まで支給される。充実した子育て支援策はあるが、消費税はフィンランド22%ノルウェー24%である。
フィンランドの高齢者福祉

は、脱施設化・在宅ケア化の方向であり、75〜90歳の在宅高齢者宅に年2回、看護・医療系の専門職が「予防的家庭訪問」を行うことが各自治体に義務化されている。

川島教授の研究として、町内会や自治会など地縁を中心とした結合型ソーシャルキャピタルと、町外から来た人が橋渡しのNPOとして地域をつないでいく橋渡し型ソーシャルキャピタルの双方で、介護予防や子育てを包括的に支援していけば効果的ではと話されました。

医療・介護・福祉の連携と子育て・教育の充実にむけて今後も調査研究を継続していきます。

※ソーシャルキャピタル…社会・地域における人々の信頼関係や結びつきを表す概念



北欧の社会福祉を学ぶ

開催日 7月29日(木)

開催手法 オンライン・Zoom

開催

従来は、先進的な取り組みを行う議会や各委員会へ、現地に足を運び直接、情報や意見交換を行う行政視察。

今回は、昨今の社会状況を考慮して、オンラインにて兵庫県洲本市議会 議会報編集特別委員会の行政視察を受け入れ、広報広聴委員会で対応しました。

お互いにとって初めてのオンラインでの行政視察ということ、事前に機材チェックや音声テストなどを行い実施しましたが、慣れない部分もありましたが、「聞きたいことが聞けて良かった」「新鮮でやって良かった」「資料が見やすくて分かりやすかった」など距離の壁を感じさせない視察受け入れができました。

活発な意見交換を行い、予定の2時間があっという間に終わりました。意見交換の内容は、主に、議会広報紙の編集や発行について、議会報告会についての開催方法や広報の仕方などを中心に意見交換を

行いました。

その他にも、ふるさと納税先進地である洲本市の取り組みなども情報共有ができ、今後の議会活動に生かせる行政視察受け入れとなりました。

現地を訪ね、五感を研ぎ澄まして行う、行政視察には敵わないかもしれませんが、予期せぬ社会状況となった時でも、学び合いの場を作っていくことが大事だと感じました。これからオンラインなど色々な手法を用いて、広報広聴の分野やそれ以外でもこのような学びの機会を作り出し、さらに市民の声を反映する議会を目指していきます。



オンライン行政視察

広報広聴委員会

《市町村議会広報研修会をeラーニングで受講》 — 住民に読まれ、議会活動が伝わる —

開催日 10月14日(木)

場所 全議員協議会室

2年ごとに、京都市内で開催されている「市町村議会広報研修会」はコロナ禍の影響でeラーニングでの研修となりました。

市民と議会とを結ぶためのツールである「議会だより」は、市民に読まれ議会活動が伝わらなければ発行する意味がないということや、議会活動の見える化・説明責任・情報共有・互いの信頼感の醸成・福祉の向上などを果たすことを目的としており、その関係に基づき、初めて行政との善政競争を行うことが可能となると教えられました。

また、開かれた議会の二大目標の一つは、市民に見える議会への進化と拡充、二つ目は、市民の意見を聞く議会です。

一つ目の目標達成のためにはホームページの充実、インターネットによる議事中継やフェイスブック・Twitterの活用、委員会審議の公開や、議案資料の配布などが重要となってきます。

市民の意見を聞く議会となるためには、議会報告会や意見交換会の実施、請願陳情の取り扱いの改善、公聴会、参考人の招

致などが挙げられます。

本市の議会だよりの具体的な講評は、表紙に若い世代の方の写真を大きく入れていることと、裏面の「元氣やで福知山」が、表紙写真の関連記事となっているところが評価されました。全体的に、文字が多く読みづらい部分があるが、見出しを効果的に使用し読みやすくなっているとの評価でした。また、読者の参加型の紙面があれぱもっと良いとの指摘もありました。本市議会以外の議会だよりの講評もあり、学ぶことがたくさんありました。

今回学んだことは今後の「議会だより」に十分取り入れ、より多くの市民の皆さんに見ていただけることを目指したいと考えています。



研修会で講評を受けた
「ふくちやまし議会だよりNo.132」

福知山市 まちづくり構想 調査研究委員会

福知山市の「まちづくり構想」に 議会の意見を提案

20年先の福知山をイメージして

「まちづくり構想」とは自治基本条例に基づく市政運営の指針として、最上位に位置づけられる計画のことです。



委員会の設置目的

これまで、福知山市の「総合計画」は、5年ごとに市長から12月定例会に提案され、翌年の1月頃に議会で審査が行われてきました。

しかし、審査と言っても一旦、提案された総合計画の議案に議会の意見や見解を組み込み、修正することは、時間的にもかなり無理がありました。そこで、今年度になって、「現総合計画（未来創造福知山）」に対する、検証をおこなった課題の抽出が必要ではないか」という意見ができました。

令和3年6月の定例会で、議長を除く全議員で構成する任意の本委員会を設置し、先に述べました現総合計画の検証や課題を抽出し、それを踏まえ



総務防災、教育厚生、産業建設の3分科会を設けた

て、来年度のまちづくり構想に反映させることになりました。

これまでの経緯

現総合計画に対する検証と課題の抽出方法は、現存する3常任委員会を「分科会」として、基本的に常任委員会の「所管」ごとにテーマを割り振り、調査研究を行いました。

その後、それぞれの分科会の正副委員長で取りまとめを行いました。全体では162項目の課題が抽出されました。さらに、各分科会で抽出された課題について執行部と「意見交換会」を開催し、現総合計画の課題や問題点がさらに明らかにしました。



総務防災分科会での執行部との意見交換

現総合計画への議会提案

意見交換会を経て、議会として「論点・争点」に至ったテーマが、15項目になり、それを取りまとめ、市長に「議会からの提案」として市長公室長に手渡しました。この議会からの提案が、「来年度から始まるまちづくり構想にいかに関与されるか」が委員会として最も重要な役割といえます。

マが、15項目になり、それを取りまとめ、市長に「議会からの提案」として市長公室長に手渡しました。この議会からの提案が、「来年度から始まるまちづくり構想にいかに関与されるか」が委員会として最も重要な役割といえます。



田村市長公室長に議会からの提案を手渡す

議会提案に対する意見交換会

その後、執行部から、まちづくり構想の「素案」が示されましたが、議会からの提案が「この素案にどのようなように組み込まれているか」について、意見交換（議論）を行います。また、提案した課題以外についても、その場でしっかりと議論を行っていきます。

なぜなら、まちづくり構想が議会に提案されると、時間的にも余裕がないために、提

案前にこのような、現総合計画に対する課題や問題点をテーマにした執行部との意見交換を行い、しっかりと議会の意見を伝えておく必要があります。

今後のスケジュール

全国の地方議会の中でも、このように総合計画の議案提案前に、課題や問題点について意見交換を行い、新たな総合計画に「議会の意志」を反映する取り組みを行っているところは少ないかもしれません。

以上の経過を踏まえ、今後、12月定例会に「まちづくり構想福知山」が提案された時点で、本委員会はその役割を終えます。その後、議会基本条例に基づき、議会設置の「特別委員会」が設置されます。

この特別委員会では、「まちづくり構想福知山」を審査することとなります。任意設置の本委員会で議論を重ねてきた議会の提案がどのような形で、反映されているか、私達、議員にとっても非常に意義深い特別委員会となることでしよう。福知山市のこれから20年先を見越したまちづくり構想を、今後しっかりと審査してまいります。

議場見学

大江高校3年生 正副議長と交流

京都府立大江高等学校の3年生2人が、地域創生教育の授業の一環として10月11日(月)に市役所を訪れました。

高橋正樹議長・吉見茂久副議長の案内で、議場や委員会室などを見学し、その後和やかな雰囲気の中で懇談をし、地域行政の理解を深めました。



※撮影のため、マスクを外しています。



福知山市
イメージキャラクター
ドッコちゃん

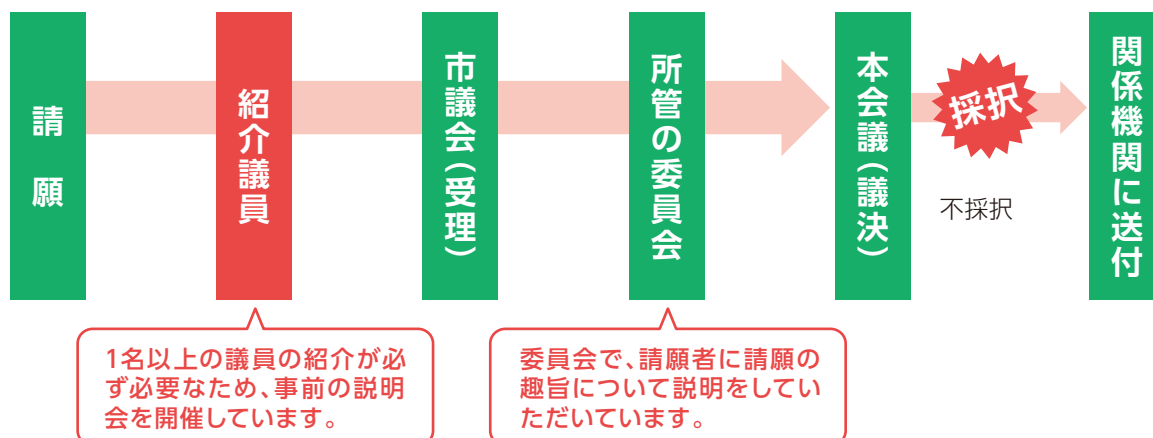
新シリーズ

『教えてドッコちゃん!』

こんにちは、今回から新シリーズとして私、ドッコちゃんが、議会用語や福知山市議会での取り扱いなどについて、分かりやすく説明します。

第1回目は【^{せい} ^{がん}請願】です。

請願とは、市民の皆様はもとより、どなたでも市政などについて
直接市議会に要望できる制度です。



※採択された請願は、市長や教育委員会などの市執行機関などに送りその実現に努力をするよう議会は求めています。
※議員の紹介を必要としない【陳情】もあります。

12月定例会の予定(24日間)

- 11月 29日(月) 本会議〔提案理由の説明(先行議決分) 質疑～委員会付託(先行議決分)、提案理由の説明(補正予算、条例等) 所管別委員会(先行議決分)〕
 30日(火) 本会議〔委員長報告～採決(先行議決分)〕
 12月 8日(水) 本会議〔質疑～委員会付託(補正予算、条例等)、一般質問〕
 9日(木) 本会議〔提案理由の説明(追加提案分)、一般質問〕
 10日(金) 本会議〔質疑～委員会付託(追加提案分)、一般質問〕
 13日(月) 各所管別委員会〔条例・その他〕
 14日(火) 予算審査委員会〔補正予算〕
 15日(水) 予算審査委員会〔補正予算〕～討論・採決
 21日(火) 本会議〔委員長報告～採決(補正予算、条例等)〕
 22日(水) (会期)

※この会議予定は、今後変更になる場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議を開催します。

令和3年度 上半期の政務活動費を各会派へ交付

令和3年度上半期(4月から9月分)の政務活動費を各会派へ交付しました。

また、政務活動の実績報告書、領収書、視察研修報告書の写しを市役所1階情報公開コーナーおよび市議会のホームページで公開しています。

令和3年度交付確定額

(単位:円)

会派名・無会派 議員名(人数)	上半期交付額確定額 (令和3年4月～9月)	会派名・無会派 議員名(人数)	上半期交付額確定額 (令和3年4月～9月)
福知山市議会 公明党(3人)	263,404	日本共産党 福知山市会議員団(5人)	60,975
蒼士会(3人)	28,700	大志の会(2人)	34,580
福知山未来の会(4人)	81,840	新政会(6人)	340,036
無会派・荒川浩司(1人)	8,065	計(24人)	817,600

編集後記

今回の議会だよりはいかがだったでしょうか。

9月議会の前半は、条例や補正予算の審査を行い、後半は決算に関わる議会でした。福知山市議会としても少しでも早く支えとなる支援が、コロナウイルスの影響を受けている市民の方々のもとへ届くよう一生懸命に一般質問や議案審議などを行いました。

今後も市民の皆さんの声や思いが届く議会となり、困難を乗り越えていけるよう努めてまいります。そしてその架け橋がこの議会だよりであれば嬉しいのです。その他、議会の模様は福知山市議会ホームページで、ライブ配信や録画配信でご覧いただくと幸いです。長期化するコロナ禍、どうかご愛ください。

(広報広聴委員会)



「元気やで福知山！」

No.39

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：足立 治之 ・ 尾嶋 厚美

「笑顔」あふれる2021バブルバズーカ・泡パーティー



修斉小学校グラウンド (小学生のみ)

喜び

Q 活動の目的は
A 幼児期からスポーツ・運動に親しむことを目的に、日本スポーツ協会の※ACP（アクティブチャイルドプログラム）を月1回かしの木台ホールで開催しています。また、夏にバ

「2021バブルバズーカ・泡パーティー」を開催し、地域に喜びを届けている「かしの木台有志の会」代表田中正志さんにお話を伺いました。「かしの木台有志の会」は、中学生以上の志ある人が、色々なアイデアを出し合い、おもしろい企画を考え組み立て実行されています。

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を議員が訪問し取材します。



奥野部共同作業所 (関係者のみ)

笑顔

Q 今後の実績成果は
A 過去5回実施、100名、120名が毎回参加をいただいています。延べ約600名になります。

Q コロナ禍における対応は
A 今までは、かしの木台ホールを中心で開催していましたが、今年度は、屋外4カ所で、コロナ対策にも配慮し、実施しました。

Q 今後の抱負は
A 学校・奥野部共同作業所・成和中学校の3カ所に出向いてイベントを実施しました。より多くの皆さまの各世代が、活発に活動し楽しく「笑顔」あふれるまちとして、かしの木台が、「喜びの拠点」となるよう引き続き活動していきたいと思っています。



成和中学校バスケットコート (中学生と先生)

楽しく

《感想》
この度のイベントは、コロナ対策も実施され大きな成果であったのではないかと感じました。ぜひ、これからも「笑顔」と「喜びの拠点」となるようイベントを継続していただきたいと思います。

《感想》
この度のイベントは、コロナ対策も実施され大きな成果であったのではないかと感じました。ぜひ、これからも「笑顔」と「喜びの拠点」となるようイベントを継続していただきたいと思います。



かしの木台ホール前駐車場 (かしの木台幼児・近隣自治会の子どものみ)

喜びの拠点

※ACP（アクティブチャイルドプログラム）幼児期の子どもがさまざまな運動遊びを通して、楽しく積極的に体を動かす中で、元気な子どもを育てるためのプログラム



バブルバズーカ

「バブルバズーカ」説明
1分間で、45平方メートルを泡だらけにできます。専用リキッドを流し込み、電源をONにするだけで、無害の泡が大量発生します。ベトつかず服についてもシミにならず安心です。

広告

歯の健康のため半年に一度、歯垢を除去しましょう!

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	—
14:00-16:00	○	○	○	○	○	—	—
17:00-18:30	○	○	○	○	○	—	—

富田歯科医院 Tel.0773-23-2818
京都府福知山市北小谷ヶ丘1912-5

有限会社 エーエム商事 不動産部
AM shoji
〒620-0055
京都府福知山市篠尾新町3-111-1
TEL 0773-24-3777
京都府知事(6)第9452号